

(様式例第11)

宇都発事第1122001号
令和4年11月22日

栃木県知事 福田 富一 殿

申請者 住 所 栃木県宇都宮市下岡本町2160
独立行政法人国立病院機構
宇都宮病院
氏 名 院長 杉山 公美弥

国立病院機構宇都宮病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒152-8621 東京都目黒区東が丘2丁目5-21
氏名	独立行政法人 国立病院機構

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

独立行政法人国立病院機構 宇都宮病院

3 所在の場所

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160	電話(028)673-2111
------------------------------	-----------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	30床	床	350床	380床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 6床 ・人工呼吸器・気管支ファイバースコープ・超音波診断装置 ・パルスオキシメーター・心電計・除細動器・血圧監視装置 ・ベッドサイドモニターなど
生理検査室	(主な設備) ・解析機能付心電計・呼吸機能検査システム・オージオメーター ・自動脳波測定装置・血圧脈波検査装置・長時間心電用データレコーダー・誘発電位筋電図検査装置・終夜睡眠ポリグラフ・超音波診断装置・負荷心電図装置など
細菌検査室	(主な設備) ・全自動一般細菌検査システム・液体培地自動培養装置 ・血液培養装置・自動遺伝子解析装置など
化学検査室	(主な設備) ・全自動血液凝固測定システム・血液学検査装置・血液ガス分析装置・全自動尿分析システム・自動生化学分析装置×3・自動免疫測定装置・自動血糖測定装置・自動ヘモグロビンA1c測定装置・交差試験カセットディスペンサーなど
病理解剖室	(主な設備) ・解剖台・死体貯蔵庫・台秤型天秤など
研究室	(主な設備) ・机4台・椅子4脚・パソコン6台・プリンター4台など
講義室	室数 2室 収容定員 130人
図書室	室数 1室 蔵所数 約5,000冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1台 ・トヨタ アルファード(患者輸送用)
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 15.93㎡ [共用室の場合] 治験待合室と共用

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率		63.7%	算定 期間	令和３年(2021年)４月１日 ～ 令和４年(2022年)３月３１日	
地域医療支援病院 逆紹介率		96.6%			
算出 根拠	Ａ：紹介患者の数			２，１３４　人	
	Ｂ：初診患者の数			３，３５０　人	
	Ｃ：逆紹介患者の数			３，２３６　人	

- (注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第 13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

[illegible]

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	3床
専用病床	3床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
外来管理治療棟、 急患室、 中央処置室、 点滴室	112.21㎡	・ベッド・心電計・AED・監視モニター・血圧計・SPO2測定器・シャークカステン・无影灯・輸液準備処置台・救急カートなど	可
細菌検査室	44.34㎡	・全自動一般細菌検査システム・液体培地自動培養装置・血液培養装置・自動遺伝子解析装置	可
検体検査室、 生理検査室	122.93㎡	全自動血液凝固測定システム・血液学検査装置・血液ガス分析装置・全自動尿分析システム・自動生化学分析装置×3・自動免疫測定装置・自動血糖測定装置・自動グリコヘモグロビンA1c測定装置・交差試験カセットディスペンサー・解析機能付心電計・呼吸機能検査システム・オージオメーター・自動脳波測定装置・血圧脈波検査装置・長時間心電用データレコーダー・誘発電位筋電図検査装置・終夜睡眠ポリグラフ・超音波診断装置・負荷心電図装置	可

4 備考

救急告示病院（平成19年2月1日指定）

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した 救急患者の数	1, 105人 (600人)
上記以外の救急患者の数	1, 318人 (332人)
合計	2, 423人 (932人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

・MRI検査	16件
・CT検査	91件
・内視鏡検査	21件
・骨密度検査	33件
・共同利用病床	0件
・共同利用を行った医療機関数	14件
・共同利用を行った医療機関数延べ数	169件
・うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	169件
・共同利用に係る病床利用率	0%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

・磁気共鳴コンピューター断層撮影室（MRI撮影）
・コンピューター断層撮影室（CT撮影）
・内視鏡検査室
・骨密度測定装置
・共同利用病床（5床）

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有・無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名：

職 種：地域医療連携部長

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙①のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

(様式例第 15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙② 地域の医療従事者に対する研修会一覧

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	6 回
(2) (1) の合計研修者数	111 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 ☒ 有・無

イ 研修委員会設置の有無 ☒ 有・無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医 師	整形外科	整形外科部長	30 年	整形外科領域における症例検討会

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
第一会議室	147.08㎡	・プロジェクター・音響設備・机18台 ・椅子100脚
第二会議室	60.77㎡	・プロジェクター・簡易スクリーン ・簡易マイク・机10台・椅子30脚

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	事務部長
管理担当者氏名	専門職、庶務班長

区 分		保管場所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		・ 病院日誌 管理課にて保管 ・ 診療録等 電子カルテサーバーにて記録	・ 病院日誌、年度により分類 ・ 診療録等 入院診療録（患者番号順） 外来診療録（患者番号順） にて分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	企画課医事係	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	管理課	
	閲覧実績	管理課・企画課専門職	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	事務部長
閲覧担当者氏名	専門職、庶務班長
閲覧の求めに応じる場所	企画課医事係、管理課
閲覧の手続の概要 書面による申請	

前年度の総閲覧件数		0 件
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回	
委員会における議論の概要		
別紙③のとおり書面にて開催 特に意見なし		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	地域連携相談窓口・医療相談室・ 各病棟カンファレンスルーム
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療社会事業専門員
患者相談件数	医療相談 2, 6 5 3 件 がん医療相談 2 2 8 件 合 計 2, 8 8 1 件
患者相談の概要	
別紙④⑤⑥のとおり	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・ <u>無</u>

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<u>有</u> ・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>広報誌「わかあゆ」及びホームページにて情報発信している。</p> <p>地域医療支援病院、栃木県がん治療中核病院など地域での役割について発信している。</p>	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	<u>有</u> ・無
<p>・ 退院調整部門の概要</p> <p>退院調整看護師長 1 名、退院調整看護師 6 名、MSW 7 名にて、毎週月・水・金曜日に病棟退院調整担当 NS 薬剤師など多職種を混じえ、退院支援カンファレンスを行っている。</p> <p>個別のケースについては、ほぼ毎日退院支援カンファレンスを行っている。</p> <p>(参考) 令和 3 年度退院調整総数 (別紙⑥) 8 0 4 件</p>	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・ <u>無</u>